

JR 仙石線一部不通区間の現況路線仮復旧による 早期運行再開を求める意見書

JR 東日本旅客鉄道会社は、東日本大震災で被災した JR 仙石線陸前大塚駅～陸前小野駅間の一部について内陸移設の意向を示されました。

しかし、これから高台の山地を造成し新ルートで運行するまでには、相当の年月を要することが想定されます。それまでの間は現況の路線を仮復旧し、仙台～石巻間全線の早期運行再開をされるよう、JR 仙石線沿線住民の会が 1 万 2 千 5 1 1 名の署名簿を添え、同社仙台支社長に陳情を申し上げてきたところであります。

JR 仙石線は、通勤・通学等地域住民の交通手段として、多くの人々に利用されており、また、石巻経済圏の動脈として重要な役割を果たしています。現在不通となっている高城町駅～矢本駅間の代行バスはあるものの、本数は少なく仙台～石巻間は通常 1 時間のところ 2 時間以上を費やしています。このため、石巻市および東松島市から仙台市に通勤・通学している方々は、家族を離れての下宿を余儀なくされるなど、大きな社会問題となっています。通勤者の多くは自家用車に切り換えています。このために幹線道路の交通渋滞が慢性化しております。これには、代行バスの運行速度が遅いことやバス停での駐停車も一因と言われております。

最近、1 日 1 往復の石巻～仙台間の東北本線等経由が運行されましたが、石巻より西の沿線の人々の利便性が増したものではありません。

幸いにして、高城町駅～陸前大塚駅間、及び、野蒜駅～陸前小野駅間は比較的被害が少ないと思われ、早期に着工することで短期に仮復旧が可能と思料されます。残る陸前大塚駅～東名駅～野蒜駅間についても、順次、早期に仮復旧することを多くの住民は願っています。

よって、国、県におかれましては、JR 東日本旅客鉄道会社に強力に働きかけるとともに、しかるべき支援等の措置をされますことを強く要望いたします。以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出いたします。

平成 24 年 2 月 2 日

宮城県東松島市議会議長 五野井 敏夫

提出先	衆議院議長	殿
	参議院議長	殿
	内閣総理大臣	殿
	国土交通大臣	殿
	財務大臣	殿
	総務大臣	殿
	宮城県知事	殿